SS 研システム技術分科会　2014 年度第 2 回会合

今求められる新たなキャンパスネットワーク　－技術と法律－

～ SS 研会員、IS 研会員、CS 研会員機関の方ならどなたでもご参加いただけます ～

■ **日時 ： 2015 年 1 月 30 日(金)　分科会 13:30～17:55 (受付 13:00～)　/　懇親会 18:10～19:10**

■ **場所 ： 富士通株式会社 本社 6 階 ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝﾙｰﾑ　[東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター]**

■ **開催趣旨**

近年のキャンパスインフラは急激に多様化するとともに、大きく変化してきました。特に、学生や教員、職員がネットワークに接続して使用するほとんどのパソコン、端末が無線接続になっています。そのため、従来、有線基幹ネットワークのデザインに注力してきたキャンパスネットワークの設計では、それに加えて、建物内に配置する無線機器も十分に考慮する必要性が高まってきました。本年度 2 回目の分科会では、無線ネットワーク利用が中心となった新しいキャンパスネットワークに着目して、その基本設計や、利用者の動線を考慮した機能設計にフォーカスを当てます。さらに、ネットワーク運用に必要なログ解析手法についても紹介します。最後に、BYOD 、PC 必携化の進むキャンパスネットワークで今後考慮すべき、セキュリティに関する法律関係の動向、事例等の紹介を行ないます。

今回も、クリッカーを活用し、聴衆と講演者や分科会企画者との距離を近付ける形式を目指します。

なお、分科会の最後にあるセキュリティ WG からの活動報告も、キャンパスネットワークの新しいセキュリティ対策に関連する話題です。

■ **プログラム：**※予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。）　--敬称略-

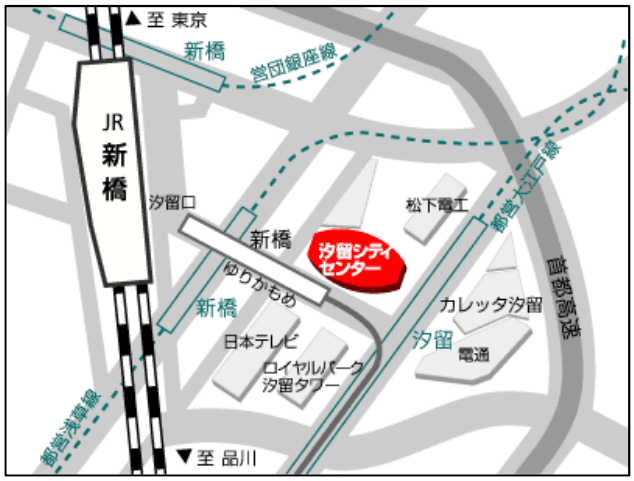
13:00～	受付
13:30～13:35	開会あいさつ
13:35～13:40	クリッカーの使用方法説明
13:40～14:30 講演 40 分 Q&A 10 分	[1] **京都大学における教育研究活動を支える無線インフラ整備と課題** **古村 隆明（京都大学）** 京都大学では 2014 年に二度目の無線インフラ更新を開始し、3 年間で全学の公共スペース，会議室，講義室，研究室などの主要なエリアに展開する計画である。無線ネットワークは教育研究活動を支える重要なインフラであり、本学の学生・教職員のほか，本学を訪れる共同研究者や企業の方など，多様な利用者に安全・快適に利用してもらえる環境を目指して取り組んでおり、商用サービスとの相乗りや、研究室ネットワークへの直結サービスについて報告する。
14:30～15:20 講演 40 分 Q&A 10 分	[2]**金沢大学におけるパソコン必携化と無線インフラ整備のこれまで** **北口　善明（金沢大学）** 金沢大学では、2006 年より新入生のパソコン必携化を開始しており、全学生がノートパソコンを利用する状況となっている。このパソコン必携化に合わせて、学生が利用するネットワーク環境の整備を進める必要があり、特に無線インフラの拡充を図って来た。本報告では、パソコン必携化による情報教育に関する本学の取り組みと、無線インフラの整備における課題やペーパレス会議への応用などに関して報告する。
15:20～15:35	休憩
15:35～16:25 講演 40 分 Q&A 10 分	[3] **システムログの解析と BYOD セキュリティ** **武蔵　泰雄（熊本大学）** 2001 年 4 月以来、DNS クエリ通信パケットログを中心としたシステムログの解析を行っている。この DNS のクエリログ解析によって学内に潜むボットの活動、大学のネットワークに対するサービス妨害攻撃活動が認識できるようになった。また無線 LAN 認証ログを解析することで、ウィルス感染端末の特定を行っている。最近の熊本大学に対するサイバー攻撃について解説する。
16:25～17:15 講演 40 分 Q&A 10 分	[4] **学内情報基盤のネットワーク管理の法的側面と最新動向** **高橋　郁夫（駒澤総合法律事務所）** 現在、大学においては、携帯電話の基地局が設置されたり、学内の無線 LAN のアクセスポイントに携帯電話事業者を相乗りさせたりということがなされるようになってきている。このような現状のもと、ネットワークの設置と管理にかかわる問題に直面する機会が増えてきた。そこで、この講演では、一般的/抽象的に（大学での）ネットワーク運用に関する法律的な側面の整理とともに、具体的な事例に対する法律面での考え方、対応について紹介・議論する予定である。

17:15～17:50 講演 30 分 Q&A 5 分	[5] **移行期にあるネットワークサービスセキュリティ WG　活動成果報告** **-パブリッククラウド利用ガイド / IPv6 とセキュリティ-** **只木　進一（佐賀大学）** クラウド技術の成熟の一方で、学術情報システムのクラウド活用は進まない。セキュリティへの漠然とした不安と、確認の観点が不明な点が課題である。一方で、学術情報システムを持ち続けるのも苦しい。外部のクラウドサービスを利用する際の課題を検討し、チェックリストとして整理した。2011 年、アジア太平洋地域の IPv4 アドレスが枯渇した。しかし、IPv6 への移行戦略は見えないままである。一方、使用している機材は概ね IPv6 対応である。そのため、知らぬ間に組織内に IPv6 パケットが流れ、裏口が作られている恐れがでている。IPv6 パケットが流れているかの確認方法から、IPv6 とのつきあい方まで考える。
17:50～17:55	閉会あいさつ
17:55～18:10	休憩　（ニュースレター編集会議:講演者/企画委員）
18:10～19:10	**懇親会**　（会費　￥500） お飲物とおつまみの簡易パーティです。お気軽にご参加下さい。会費は当日受付にて申し受けます。

■ アクセス

汐留シティセンターの 1 階ロビーにある受付にお立ち寄りいただく必要はございません。エレベーターホールは低層階用をご利用いただきたく、1 階受付に向かって一番右側のエレベーターホールから 6 階に上がり、「User Community Salon」と記載されている扉からお入り下さい。受付にお立ち寄りいただき、Guest Card をお受取り下さい。

http://jp.fujitsu.com/facilities/shiodome/



<<電車でのアクセス>>
- JR 新橋駅
  汐留口(地下 1 階)から徒歩 3 分
- 東京メトロ 銀座線 新橋駅
  出口 4 (地下 1 階) から徒歩 3 分
- 都営地下鉄 浅草線 新橋駅
  汐留方面出口 (地下 1 階)から徒歩 2 分
- 都営地下鉄 大江戸線 汐留駅
  JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口(地下 2 階)から徒歩 1 分
- 新交通ゆりかもめ 新橋駅
  出口 1D から徒歩 1 分

<<羽田空港から新橋駅までのアクセス>>
- 東京モノレールと JR 山手線
  羽田空港 から 浜松町 経由 新橋駅 (所要時間約 30 分)
- 京浜急行と都営浅草線 (直通電車)
  羽田空港 から 都営浅草線新橋駅 (所要時間約 30 分)

■ ご参加について

- 参加対象 ： SS 研、IS 研、CS 研の各会員機関の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- 参 加 費 ： 無料です。ただし、懇親会については 会費￥500 を申し受けます。
- 定　　員 ： 100 名(予定)

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。

http://www.ssken.gr.jp/MAINSITE/

【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会（SS 研）事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
富士通(株) カスタマーリレーション部内（SS 研）
TEL：03-6252-2582(直通)
Email:office@ssken.gr.jp　　URL http://www.ssken.gr.jp/MAINSITE/